

横浜市立大学木原研究所

木原先生は京都大学植物学教授で、数々の偉大な業績を残され、文化勲章を受けておられる。中でも小麦の起源の発見は有名である。先生は京都大学在職中の昭和 17 年（1942）京都市郊外の物集女に私設の木原生物学研究所を設立され、研究の発展を計った。これは、大学の施設を越えた規模の実験農場を求めてのことであった。京都大学定年後、先生は国立遺伝学研究所の所長を務められ、研究所は横浜市南区六ッ川に移転した。

1984 年、研究所は横浜市に寄贈され、市はこれを植物部門として、さらに動物部門を加え、横浜市立大学木原生物学研究所を発足させた。場所は六ッ川に植物系の 1 部門、南区中村町の医学部分室を譲り受けて、植物系の 1 部門と動物系の 2 部門、事務は大学の本部の金沢区瀬戸と分散したものとなった。

当初、時代はバイオブームで、市としては戸塚区舞岡の地にバイオ産業を終結させ、木原研が、その中核として機能することを企てていた。舞岡の周辺の住民の方々は、実験によるバイオハザードを危惧され、研究所として危険となる実験は行わないとの取り決めを取り交わしたりした。しかし、研究所設立計画は遅れに遅れ、木原研自身が舞岡の地に研究所を建設できたのは、10 年後の 1995 年であった。立派な施設の研究所が設立され、各部門がまとまった運営がスタートしたが、この地へのバイオ産業誘致はならなかった。

その間、バイオ産業育成の応援組織として、木原記念横浜生命科学振興財団が設立され、学術振興に加え、横浜市と連携した産業活性化の取り組みや、研究開発施設、横浜バイオ産業センターの運営等に取り組んでいる。なお、財団は、新しく開発された鶴見バイオセンターに移転し、その活動を続けている。

THE HISTORY OF THE EARTH
IS RECORDED IN THE LAYERS OF ITS CRUST
THE HISTORY OF ALL ORGANISMS
IS INSCRIBED IN THE CHROMOSOMES

地球の歴史は地層に
生物の歴史は染色体に記されている

Hitoshi Kihara
1946

この記念品は、当研究所のモリス・ホール（第一正面）にあるモリス博士の遺像の一部を
用いて製作したものです。

(説明)

THE HISTORY OF THE EARTH
IS RECORDED IN THE LAYERS OF ITS CRUST
THE HISTORY OF ALL ORGANISMS
IS INSCRIBED IN THE CHROMOSOMES

邦訳

「地球の歴史は地層に
生物の歴史は染色体に記されてある」

Hitoshi Kihara 1946

この言葉は、当研究所の名譽所長で世界的に著名な遺伝学者であった故本原均博士がゲノムの概念とゲノム分析法を表すものとして創作したもので、出版物には、1947年の「小麦の祖先」（創元社）に初めて現れています。

本原博士は、コムギの染色体の研究から、生命の単位としての染色体セットから成るゲノムの概念を提唱しました。この説にもとづきコムギをはじめとする高等植物の進化の道すじを明らかにして、その祖先種を突き止めました。

この言葉は、生命系が長い地球の歴史・進化の産物であることを意味しており、現代の生命科学の研究の上でも示唆に富むものです。

横浜市立大学本原生物学研究所